



【学校教育目標】自分の可能性を信じ、新しい時代を心豊かで明るく、たくましく生きる生徒の育成
【キーワード】考え動く・・・『考動』

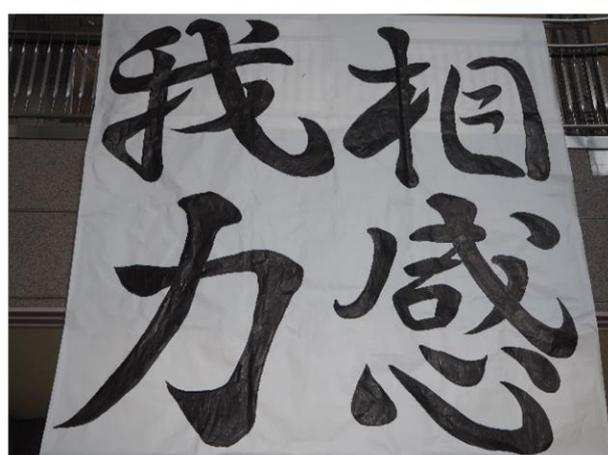
文責：湊口

令和6年度がスタートして1ヶ月半が経過しました。この間、生徒は中島中学校の新しい歴史を創造するため、頑張ってきました。振り返って、生徒の頑張りを紹介します。情報発信が遅くなってしまったことお詫びします。気を取り直して！

☆生徒会活動が活発に☆



生徒会活動は、より良い中島中学校にするため、生徒自身が意見を出して、活動方針や活動内容を決定し、実践していく活動です。生徒会役員や専門委員会の委員長を中心に進めていますが、各学級で話し合いをしたり、生徒総会で質問をしたり、生徒主体の様子が伝わります。前期生徒会スローガン『相感我力(そうかんがりよく)』今年も生徒玄関に掲げました。スローガンのもとになった『なかじま Mind』の実現に向け、生徒一人一人が真摯に頑張る姿が見えてすばらしいと思います。



☆激励の「カラマンダリン」☆

全国ニュースで、全壊・半壊の建物がそのままになっていて、復興が進まない状況が報道されました。それを見て、愛媛県中島町の「中島小浜みかん会」様より、激励の気持ちを込めて春みかん「カラマンダリン」が送られてきました。

一人3個ずつ持ち帰り、その後、学校でお礼のメッセージを書き、送る準備をしています。



「中島小浜みかん会」様は、地震発災直後より何度も、激励のみかん各種を送ってくださいました。いつも、気にかけてくださっていると思うと、とてもうれしくなります。中島中学校の生徒は、元気です！

※カラマンダリンというみかんは、本当に甘～いミカンでした。

☆ボランティア活動って・・・何？☆



【講師紹介】

頼政 良太 さん
被災地NGO
協働センター代表
関西学院大学博士

石坂 智子 さん
ゲストハウス
のとのえんね
中島町外で活動中

ボランティア活動とは、どんなことをするのか・・・。

中島町でボランティア活動に携わっている方から、具体的なボランティア活動についてお話を聞く機会を設けました。中学生でもできるボランティア活動について教えていただいたのですが、多くのことを学び取った生徒達でした。

【生徒の感想】ボランティア活動というと、がれきを片付けたり、炊き出しをしたりと思っていたが、話し相手になるだけでもよいと分かり、自分でもできそうだと思います。復興するとは、人の心の傷や落ち込みを、元通りまでいかなくても高く保ってあげるということでもであると学びました。

☆学び方について☆

「学習集会Ⅱ」を実施しました。
授業中の【T-Time】について全員で共通理解しました。

【T-Time】のTは、**T**hink

Talk

Take a action の頭文字『**T**』です。

実際の授業では、写真のように、友達と学び合ったり、タブレットを使ったりすることです。



「発言できるよ」「考えあるけどあてないで」等
ハンドサインで自分の状況を伝えます。



3年1組の社会科の授業で、問題解決に向かう
様子を全教員で研修しました。
先生達も勉強しています。



写真から【T-Time】の様子がわかります。
さすが、3年生です。
とても、楽しそうに学んでいますね。
3年2組の社会科の授業風景です。

